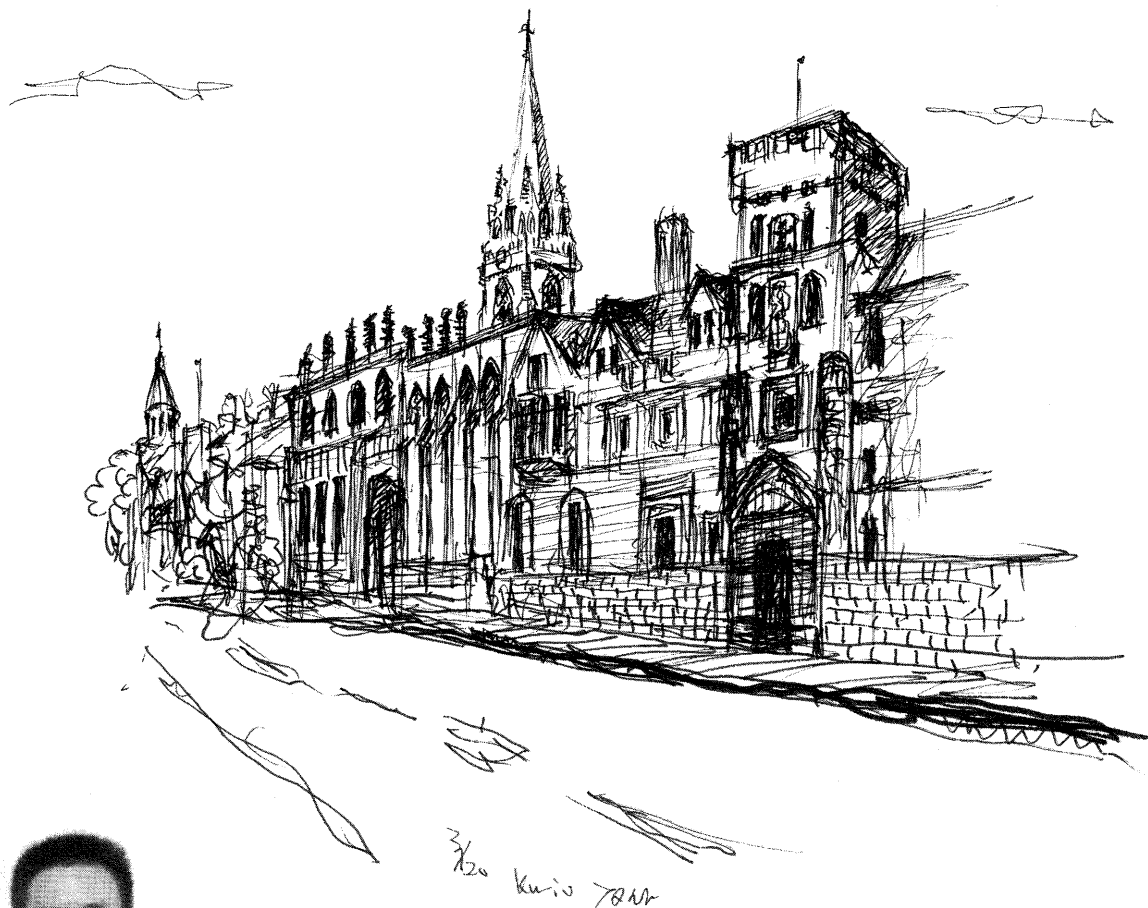




Fukuoka Alumni Newsletter

事務局：〒939-0127 富山県高岡市福岡町上叢561番地 福岡高等学校内



魅力ある母校を応援しよう！

同窓会会長 大野 洋靖

昨年11月1日、福岡高校のある福岡町が高岡市と合併しました。「昭和の合併」から約50年、「平成の大合併」により多くの市町村が合併し、3,200以上あった市町村が、今年の3月末には1,800ぐらいになるそうです。今回の合併で福岡高校も高岡市の高校となり、砺波地区から高岡地区の高校となりました。これまで部活動において砺波地区の大会に参加していましたが、今後は高岡地区となるでしょう。また、これまで福岡高校への入学は砺波地区と高岡地区からでしたが、富山地区からも福岡高校へ入学できるようになります。在校生やこれから高校へ入学する生徒たちにとっては大きな変化だと思います。

また、これまで福岡町で唯一の高校でしたが、高岡市には福岡高校以外に13校の全日制県立高校のほか私立高校もあります。町からの様々な支援も今後どうなるか分かりません。

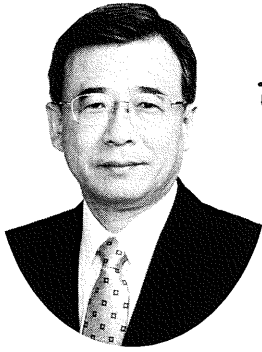
市町村合併により行政区域が広域化すると地域の細かいところまで目が行き届かなくなるように思います。そんなときこそ、地域の活動が大切になり、学校においても同窓会やP

TA、地域住民の支援が重要となるのではないかと思います。福岡高校では、合併前の高岡市から半数以上の生徒が通学しています。福岡も高岡市内ということになり、同窓生も在校生も町と高校に一層愛着を持っていただけると期待しています。

さて、今、富山県では県立高校のあり方について検討されています。県立高校の規模と配置については、1学年5～6学級とし、現在43校ある県立高校は30～36校が望ましいとの案が出されているようです。開校時6学級270名だった福岡高校の18年度入学募集は、4学級160名となっています。急激に進む少子化でさらに学級数・生徒数が減少するのではないかと心配です。

今年20回目を数える英語学研修など特色ある教育内容や地域の方々との交流によって、皆さんに愛され入学したいと思う高校となるように、同窓生である私たちも母校をバックアップしていきたいと思います。

同窓会活動の活性化と福岡高校の発展のために今後も会員の皆様のご協力と参加をどうかよろしくお願いいたします。



英国語学研修に想う

校長 浅谷 昌美

「本場英国での本物の英語を!」皆月校長の熱き想いから始まった本校の英国語学研修(ちなみに1回から5回までは英国短期留学研修と言った)は今年、20回の派遣という節目を迎えた。派遣生徒数は467名に及ぶ。湾岸戦争やイラク戦争そして口蹄疫など、数々の心配もあったが、中断することなく実施され、本校の太い血流となり、今日に引き継がれている。無論、長年、福岡町当局及び英国研後援会、PTAや同窓会等の支援があったことを忘れてはならない。さらに、今回からは、新たに高岡市の支援を頂くことになる。

第1回派遣引率の鈴木教諭は「国際理解も、異文化理解も、基本は外国語、とりわけ英語の知識・話せる力が必要だと、生徒たちは痛感したことであろう」と書いた。

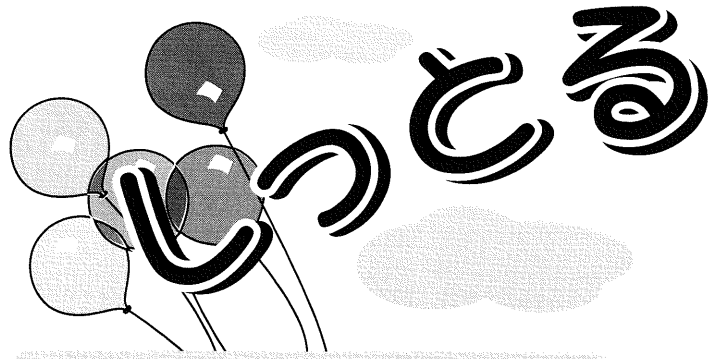
文部科学省はいまようやく「英語が使える日本人」の育成の戦略構想・行動計画を発表し、話せて聞ける英語力の定着に本腰を入れて取り組み始めた。本校が20年も前から行っていたことである。今後ますます、英語を話す力と英語を聞く力への要請は高まるであろう。

「自分がこの一ヵ月間で学んだ一番大切なことは、今日の社会はどんどん国際化しており、自分も国際的な感覚を持たねばこれから生きていくことはできない、ということをはっきり認識したことだと思う。今や地球の裏側まで一日かからない時代、他の国で起こった事件が明日の日本を変えるかも知れないという時代なのだ。」(第1回派遣生)

英国語学研修が脈々と受け継がれ、有為な人材の輩出に貢献することを切に願う。

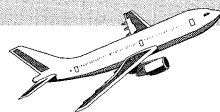


第19回 修了式



第20回英国語学研修日程

- 3/8(水) 関西空港発：
● ロンドンヒースロー空港着
● ボートンへバスで移動
- ...
- 3/9(木) オリエンテーション等
● ~11(土)
- ...
- 3/12(日) ボートン発・ホストファミリーと対面
● ...
- 3/13(月) 語学学校第1週
● ~17(金)
- ...
- 3/18(土) Bath等へ旅行
● ・19(日) 自由行動
- ...
- 3/20(月) 語学学校第2週
● ~24(金) さよならパーティー
- ...
- 3/25(土) Londonへ旅行
● ~29(水) ロンドン発
- ...
- 3/30(木) 関西空港着 福岡高校着



第20回英国語学研修団 生徒代表 荒見 亜希子(2年)

英国語学研修生に決まった当初は、とてもうれしく、胸が高鳴りましたが、イギリスへの出発を間近にひかえ、期待に加えて、この研修を必ず意義あるものにせねばという責任のようなものを感じるようになりました。

私は、海外へ行くことはもちろん、飛行機に乗ることも初めてです。研修を重ねるにつれて、語学学校での学習やホームステイが心配になってきました。しかし、この千載一遇のチャンスを生かして、日本では得ることのできないものを吸収して、自分の世界を広げたいと思っています。たとえば、文化や言葉の違いから、自分の思いどおりにならない事がたくさんあったとしても、自分の力で物事を解決する力をつけたいと思います。

このような素晴らしい機会を与えてくださったことに感謝して、研修を無事に成功させたいと思います。

付 福岡高校!

英国語学研修編

今回は、我が母校が誇りにしている事業の一つ『英国語学研修』をとりあげます。実際、英国に行った方、研修を羨ましく思った私、そして全然興味が無かったあなた・・・事業に対しては人それぞれの思いがありますが、同窓会からも毎年補助金を出させて頂いています。知ってましたか???

紙面を見ていただき、当時は思い起こしていただければ幸いです。

第1回 英国短期研修を顧みて

小島 定俊 先生

福岡高校が特色ある教育を推進するということで、富山県で初めて英語コースをもつ学校として昭和58年に開校され、もう20年余りになります。教育目標の一つ「21世紀を志向する国際教育」を推進するため、開学当初よりその資質を養う活動に邁進し、校長先生はじめ、職員一人ひとりが汗をかき知恵を出し合ってきたことを忘れることができません。

特に英語科をまとめていただいた船本先生には格別のご苦勞をおかけしました。36日間の留学のうち、1日も無駄にしない研修をするために、並々ならぬご努力を賜りました。このことは、第1回英国短期留学に参加した1年生6名、2年生12名、そして参加させていただいた私にとっては生涯忘れることのできない貴重な体験となりました。

後輩の生徒達にも是非この良い機会を生かしてもらおうということで、以来この研修が繰り返され、すでに20回という記念すべき研修になったと伝え聞き、大変嬉しく思っております。

ここにいたるまで、念には念を入れながらいろいろ調査研究し、さまざまなことに対応されてこられたとは思いますが、何と言っても安全が一番です。このことに留意され語学学校での研修をさらに推進してください。

せっかくの機会ですから時間を無駄にせず、自分の力で行って確かめるという前向きの姿勢で、長い歴史をもつイギリスの伝統・文化・風物等に触れ、少しでも国際理解を深めるようにしてもらえればと願っております。



第2回 浅地 隆佳 (4回生)

19年も経過していますが、普通の海外旅行ではありえない研修メニューであり、感動はしっかり覚えています。最初は緊張して教室で英会話を学び、慣れるにつれ、多国籍の友人ができ、互いの文化を紹介し、街頭アンケートや通学などで英語圏を体感し、小旅行で壮大な風景に感動し、最後は一人でホストファミリーに溶け込む。様々な感性と可能性を与えてくれるすばらしい研修でした。



第1回英国短期留学生派遣 (昭63.2)
〔上段一番右が小島先生〕



第13回 宮本 知則 (15回生)

英国研に行ったのは、7年前の事です。英語が苦手だった自分にとっては、1人でのホームステイが不安でした。実際に行ってみて、言葉はうまく通じなくてもコミュニケーションできることを学びました。あっという間の3週間でしたが貴重な体験をできたと思います。



第14回 加藤 真希子 (16回生)

英国研に行ったのは、今から5年前。行く前は不安な気持ちもありました。でも、今思うこと・・・それは「行って良かった」ということです。語学の勉強はもちろんですが、イギリスで感じた人の温かさは忘れることができません。あのイギリスでの日々は、私の人生を変えてくれたような気がします。これから英国研に参加するチャンスのあるみなさん、イギリスでの日々は想像以上のものをあなたにもたらせてくれると思います。福岡高校に来たからにはぜひ、参加してみてください。

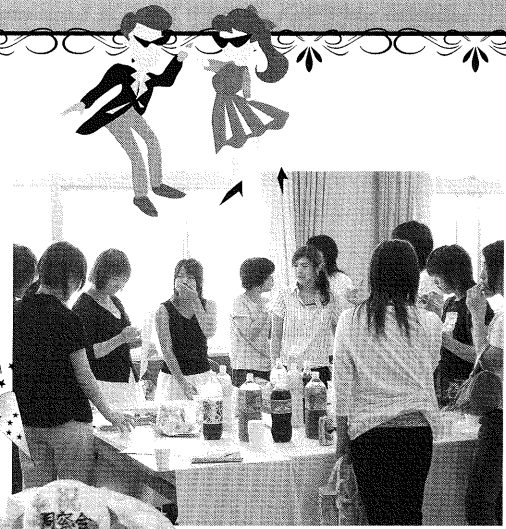
第20回 同窓会総会

昨年8月17日(水)にセミナーハウス(朋友館)にて第20回同窓会総会を開催いたしました。

総会においては、平成16年度会務及び会計報告等の議事が滞りなく進行され、全ての議事が承認されました。

懇親会では、今回がHappy20周年ということで♪Happy Birthday福岡高校♪の歌に合わせて会長が20本のろうそくの火を消し、会が開会されました。その後は、卒業生が学生時代に活躍した体育祭や学校祭などの映像を流しました。

1年ぶりに集う同窓生も多く、名残が尽きぬまま、つつがなく会を閉会しました。



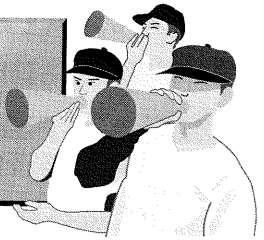
平成17年度 同窓会役員名簿

役職名	氏名	回	組
会長	大野 洋靖	1	5
副会長	立川 証	1	4
副会長	伊藤 雄一郎	2	2
副会長	板谷 直子	4	2
監査	西野 隆史	1	2
監査	田辺 喜代美	1	4
監査	米沢 尚美	2	4
常任幹事	長谷川 格	1	5
常任幹事	宮田 俊孝	2	1
常任幹事	牧野 友紀	3	3
常任幹事	浅地 隆佳	4	6
常任幹事	中村 裕二	5	1
常任幹事	塚原 映生	6	3

常任幹事	金森 剛生	7	3
常任幹事	小川 智子	8	6
常任幹事	福江 厚啓	9	2
常任幹事	嶋田 志保	10	2
常任幹事	藤村 充邦	11	5
常任幹事	今井 泰則	12	6
常任幹事	山川 雄亮	13	5
常任幹事	高田 洋平	14	1
常任幹事	角 千絵美	15	2
常任幹事	加藤 真希子	16	3
常任幹事	下村 肇	17	5
常任幹事	二塚 大地	18	2
常任幹事	土肥 浩樹	19	1
常任幹事	長田 亜沙美	20	4



それ行け! OB・OG



我が母校も、新設校と呼ばれてはや20数年・・・。

勉学もさることながら部活動にも力を入れています。先輩達が築いた部活動を通じ、今も脈々と受け継がれるOB・OG会を紹介します。

福岡高校剣道部OB会を設立して

福岡高校剣道部会初代会長 高澤 孝司
(1回生)

2005年8月13日(土)ウイングウイング高岡において、福岡高校剣道部OB会が開催され、会則をもったOB会が正式にスタートしました。福岡高校剣道部は、顧問の高井先生や中島先生のご尽力により、卒業したてのOBが幹事となって毎年OB会が連綿と開催されてきました。しかし、僕自身OB会に参加しながら、いつまでもOB会に呼ばれるだけでいいのかという疑問を持っていました。2004年9月に第1～3期生が中心となり、「ちゃんとしたOB会をつくらう」と話し合いを始めました。11月に射水市の「山ちゃん」にて臨時OB会を開き、OB同士の交流と現役部員への活動支援を目的とした「福岡高校剣道部OB会」の設立を決定し、約1年の準備期間を経て、前述の総会までこぎつけました。(OB会設立までの過程は福岡高校剣道部ブログをご参照ください)

★<http://blog.goo.ne.jp/t-takazawa>★

なぜ今時OB会なのでしょう。若い卒業生や現役生にとってはOBの自己満足だと思われるかもしれませんが、しかし、第1期生の僕らも38歳になり、それなりに人生経験を積む中で、人との出会いの大切さや友達ができる事の喜びを知る年齢となりました。「福岡高校剣道部」というキーワードで集まることができる約90名の卒業生、先生方との出会いの中で、世代を超えた新しい友達ができるかもしれませんし、現役生の活躍を見て剣道を再び始める方もおられるかもしれません。今後の活躍自体も手探り状態ですが、現役生も含めた全員で、この会を育てていきたいと思ひます。



◀ H17年9・29 部旗贈呈式

野球部OB会について

荒野 浩
(2回生)

野球部OB会ですが、残念ながら正式な発足には至っておりません。OB数は昨年で20期174名になりましたが、年齢的に1期生がまだ30代後半と若く?、社会的地位・経済力に乏しく、物心両面で野球部に十分な支援が出来ないでいます。また地元に残って常時活動出来る人材が少ないのも悩みです。現状は、来るべき日のために、地道に活動しているといったところです。ここではその地道な活動を紹介させていただきます。

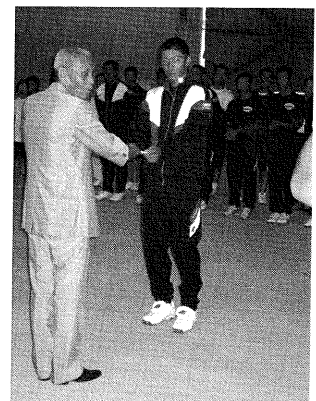
物の支援として、後援会への協力活動を行っています。野球部への主な支援団体には後援会があります。後援会は、福岡町内外の有志の方々を中心となって結成され、毎年会費を募り、部活動費の援助を行っています。OB会としては数名を理事等の役職に就かせ、OB各位に対して後援会入会をPRしております。少しずつですが、年々OBの入会が増えています。

心の支援として、年1回、現役生と合同練習・交歓試合を行っています。現役生に対しては、少しでも技術面・精神面のアドバイスをしたい、OBに対しては、参加者の中から将来OB会の中核となりうる人材を発掘したい、という思いで毎年続けています。

最後にOB会の今後についてですが、今年か来年、正式な会として発足したいと考えております。OB各位には、より一層のご協力をお願いします。



▶ 活動援助費贈呈式



学校の近況



平成17年度 部活動成績

陸上競技部

■平成17年度富山県高等学校総合体育大会
男子800m 第5位 高木 大輔 (31H)
(北信越大会出場)

野球部

■第46回春季砺波地区高校野球大会
優勝
■第47回秋季砺波地区高校野球大会
優勝

サッカー部

■U-17富山県サッカーリーグ
Fグループ 優勝



吹奏楽部

■第29回全日本アンサンブルコンテスト砺波支部大会
サクソフォン四重奏 金賞
フルート三重奏 金賞
■第29回全日本アンサンブルコンテスト富山県大会
サクソフォン四重奏 金賞

放送部

■第44回富山県高校放送コンテスト
テレビドラマ部門 優良賞 「おもちゃの国」

美術部

■第30回 県青少年美術展
絵画部門 入選 関口 美波 (33H)
入選 吉田 亜希 (22H)
入選 浅野 太智 (14H)
デザイン部門 入選 濱木 茜 (23H)

書道部

■第30回 県青少年美術展
書部門 入選 北野 愛弥 (31H)
入選 水高 晶子 (31H)
入選 松田 紋佳 (35H)
入選 荒見 亜希子 (21H)
入選 本間 文子 (24H)
入選 小池 りりい (11H)
入選 越田 真布 (12H)
入選 能作 吏英子 (13H)

■全国高校総合文化祭来年度出展者 本間 文子 (24H)

その他

☆水 泳☆

■平成17年度富山県高等学校総合体育大会
競泳男子 100m平泳ぎ 3位 青木 邦彦 (32H)
200m平泳ぎ 3位 青木 邦彦 (32H)
100m自由形 1位 山出 紀生 (24H)
200m個人メドレー 1位 山出 紀生 (24H)
競泳女子 200m個人メドレー 1位 橋田 祐里 (11H)
50m自由形 2位 橋田 祐里 (11H)

■平成17年度北信越高等学校総合体育大会

競泳男子 200m個人メドレー 3位 山出 紀生 (24H)
競泳女子 200m個人メドレー 2位 橋田 祐里 (11H)
50m自由形 5位 橋田 祐里 (11H)
(以上2名 全国大会出場)

■第58回富山県民体育大会

競泳男子 200m平泳ぎ 1位 青木 邦彦 (32H)
(少年A) 400m個人メドレー 1位 山出 紀生 (24H)
100m自由形 1位 山出 紀生 (24H)
競泳女子 200m個人メドレー 1位 橋田 祐里 (11H)
(少年B) 100mバタフライ 1位 橋田 祐里 (11H)

■平成17年度富山県高等学校新人水泳競技大会

競泳男子 200m自由形 2位 山出 紀生 (24H)
50m平泳ぎ 3位 山出 紀生 (24H)
競泳女子 100mバタフライ 1位 橋田 祐里 (11H)
100m自由形 2位 橋田 祐里 (11H)

☆英 語☆

■第7回英語プレゼンテーションコンテスト
リサーチ・プロジェクト部門
奨励賞 唐嶋大輔 杉本貴昭
土肥勇介 中島啓悟 (以上21H)

スピーチ部門

優良賞 高畠千晴 (21H)
奨励賞 小神彩香 (21H)

レシテーション部門

優秀賞 沢田未来 (12H)

☆フラワーカーニバル☆

優勝 向 勝臣 (11H)

☆第9回ボランティア・スピリット賞☆

北陸信越「コミュニティー賞」 島 彩佳 (21H)

編集後記

今年度は大変な大雪でした。会報編集会議後、自宅の除雪をしたのが良い思い出になるのはいつのことやら…。

事務局だより

- ◇表紙のスケッチは、柳田邦男先生が、第6回(1992年)に英国語学研修に付き添いで行かれた際に描かれたものです。
- ◇福岡高等学校のホームページを開設しています。ご利用ください。なお、同窓会ページの内容は多くの意見をどんどん取り入れて、内容を充実させたいと考えています。
- ◇会報をホームページにも掲載しています。

<http://www.fukuoka-h.tym.ed.jp>

注意 同窓会事務局と名乗り、住所、進路等の問い合わせをする業者があります。ご不審な点がございましたら、下記へお問い合わせください。

〒939-0127 福岡高等学校内 同窓会事務局 電話(0766)64-5275 FAX(0766)64-5276

ホームページ URL <http://www.fukuoka-h.tym.ed.jp>

E-mail dousou@fukuoka-h.tym.ed.jp